

## 第11回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

### 議事録

日時：平成24年10月2日（火） 15：00 ～ 17：00

場所：大宮ソニックシティ ソニックシティビル7F 706会議室

出席者	座長	葉山 嘉一	日本大学生物資源科学部 准教授
	委員	池谷 奉文	公益財団法人日本生態系協会 会長
		柳澤 紀夫	公益財団法人日本鳥類保護連盟 理事
		勅使河原 彰	狭山丘陵の自然と文化財を考える連絡会議 前代表委員
		鈴木 伸	鳩山野鳥の会 代表
事業者		本間 淳史	東日本高速道路株式会社 さいたま工事事務所長
		辻 保人	国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所長
事務局			大宮国道事務所

第 1 1 回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
開 会	<p>・定刻には若干早いのですが、皆さんおそろいになりましたので、ただいまより第 1 1 回埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議を開催させていただきます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、御多忙の中、御出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>本日の進行を務めさせていただきます大宮国道事務所調査課長の森澤といいます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議は 1 5 時から 1 7 時までの約 2 時間を予定しておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>それでは、議事に入る前に本日の配付資料を確認させていただきたいと思います。</p> <p>まず最初に、A 4 判ですが、議事次第が 1 つあります。そして、第 1 1 回埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議資料①が A 3 判で 1 冊とじてあります。3 つ目としまして、第 1 1 回埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議資料②ということで、これは調査地 G の上尾道路 [REDACTED] になりますが、こちらの道路整備によるオオタカへの影響及び保護対策ということで、中身的には、6 月 2 7 日にオオタカ会議から送らせていただきました文書と検討会議資料と平成 1 9 年度～2 3 年度の飛翔行動がひもで一つづりになっているものが 1 冊あります。それと、参考資料①としまして、今期のオオタカの月別飛翔図、少し厚いものが A 3 判であります。参考資料②としまして「調査地 H における猛禽類調査結果」が 1 冊。最後に参考資料③ということで、「C C D カメラモニタリング結果」という資料を配付させていただいております。</p> <p>資料の不足がありましたらお申しつけいただければと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p><b>【会議資料】</b></p> <p>会議資料①</p> <p>第 1 章 平成 24 年猛禽類調査結果概要</p> <p>第 2 章 各調査地の調査結果</p> <p>第 3 章 調査地 L の保全対策</p> <p>会議資料② 調査地 G (上尾道路 [REDACTED]) の道路整備によるオオタカへの影響及び保護対策</p> <p>参考資料① オオタカ月別飛翔図</p>

第11回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
<p>「第1章平成24年猛禽類調査結果概要」及び「第2章各調査地の調査結果」</p>	<p>参考資料② 調査地Hにおける猛禽類調査結果 参考資料③ CCDカメラモニタリング結果（オオタカ確認記録）</p> <p>・それでは、これより議事のほうを進めさせていただきますので、進行につきましては[ ]にお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。（事務局 森澤）</p> <p>・どうぞよろしくお願いいたします。本日の会議は、議事次第にもありますように、平成24年の猛禽類調査結果の概要及び調査結果と、調査地Lの保護対策、そして調査地G（上尾道路[ ]）の道路整備によるオオタカへの影響及び保護対策という内容になります。どうぞよろしくお願いいたします。[ ]</p> <p>・それでは、最初に第1章の「平成24年猛禽類調査結果概要」及び第2章の「各調査地の調査結果」について、事務局から御説明をお願いします。[ ]</p> <p>・大宮国道事務所の調査課長の森澤です。よろしくお願いいたします。今回の御説明につきましては、事前に委員の皆様には資料の御説明をさせていただいております。こういったところから、ポイントのみに絞って御説明させていただきますことを御了承いただきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。</p> <p>では、第1章「平成24年猛禽類調査結果概要」及び第2章「各調査地の調査結果」につきまして、調査会社より説明をお願いします。（事務局 森澤）</p> <p>・「第1章平成24年猛禽類調査結果概要」及び「第2章各調査地の調査結果」の説明。（(株)建設技術研究所 川崎）</p> <p>・ありがとうございました。</p> <p>それでは、今の御説明について御質問、御意見を伺いたと思ひます。よろしくお願いいたします。いかがでしょうか。</p> <p>念のためですが、調査地Aでノスリが繁殖した位置は、4ページの以前の巣の位置を見ると、落巢していますけれども、A1、A3に近いところと思ひますが、営巣木そのものは同じ営巣木を使っ</p>

項目	主な意見と回答
<p>「第 1 章平成 2 4 年猛禽類調査結果概要」及び「第 2 章各調査地の調査結果」</p> <p>第 3 章 調査地 L の保全対策</p>	<p>たということではないのでしょうか。 [REDACTED]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査を担当しました埼玉県生態系保護協会の湯川と申します。よろしくお願いいたします。</li> <li>8 ページにノスリの営巣地点が記してございます。青い星印が 2 つありますけれども、左下が H 2 3 年ということで去年の位置、ことしはそこから若干北東の H 2 4 という位置に移動しています。営巣木としてはヒノキが使用されました。以上です。(財) 埼玉県生態系保護協会 湯川)</li> <li>・違う木ですね。 [REDACTED]</li> <li>・A 3 の木とは違う木です。(財) 埼玉県生態系保護協会 湯川)</li> <li>・ありがとうございました。</li> <li>何か所かでオオタカが使っていた巣をノスリが使い始めるという事例があったものですから、念のためと思って伺ったのですけれども。</li> <li>いかがでしょうか。御質問はございませんか。 [REDACTED]</li> <li>・今回、大分距離が近いところでノスリとオオタカが巣立ったのですけれども、こういう例は各所でいっぱい起きているのですか。(事務局 早野)</li> <li>・たくさんはないですけれども、複数カ所は私は存じ上げています。特に質問はよろしいですか。 [REDACTED]</li> <li>・そうしましたら、時間の制限もありますので、次の第 3 章「調査地 L の保全対策」について説明をお願いいたします。 [REDACTED]</li> <li>・それでは、第 3 章「調査地 L の保全対策」につきまして、私から御説明させていただきます。</li> <li>・「第 3 章 調査地 L の保全対策」の説明。(事務局 森澤)</li> </ul>

項目	主な意見と回答
<p>第3章 調査地Lの 保全対策</p>	<p>・ありがとうございます。</p> <p>内容は主に4つの項目がありまして長いので、まず最初に3.1と3.2の45ページまでのところで御意見、御質問をお願いしたいと思います。どうぞよろしく。■■■■■</p> <p>・3.1の営巣林の保全ですけれども、先ほど説明がありましたように、担保性が非常にないのですね。確かに■■■■■から緑地の保全について地権者の方に協力の要請をしているわけですが、これもあくまでも地権者の良識にゆだねているということだけですし、38ページのFの営巣木がある林についても、良好な屋敷林等を保全する市民緑地ということで、この市民緑地については将来の担保性がないということを前々から何回も主張していますので改めて主張しませんが、努力していただいたことについては評価しますけれども、もう少し明確に将来の担保性を図っていくということを今後の方針の中にきちんと書いていただければと思います。■■■■■</p> <p>・御対応はいかがですか。■■■■■</p> <p>・事務局からお答えさせていただきます。</p> <p>Lの■■■■■につきましては、今回文書を出させていただきましたということで、一歩か半歩かわかりませんが、とりあえずこういった動きをさせていただきました。今後さらにどういう形がとれるかというところは難しい部分もありますが、継続して■■■■■と調整させていただきたいということをお話しさせていただきます。</p> <p>もう一個のF地の方ですが、ここも今は担保性がある状況ではありません。ここにつきましても、まず第一歩というか、Lと同じような対応で、土地の所有者が約26人おられるのですけれども、その人たちに対して何かアクションができないかということは検討させていただいています。その上で今後こういった対応ができるかは、またこの会議の場で御報告させていただきたいと思います。</p> <p>以上です。(事務局 早野)</p> <p>・いかがでしょうか。■■■■■</p>

項目	主な意見と回答
<p>第3章 調査地Lの 保全対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ですから、もう少しこの文章を、おざなりの文章ではなくて、努力することが見えるような文章にしてください。 [REDACTED]</li>   <li>・今、 [REDACTED] からお話があったような形で、今後の方針のところに今後の努力が見えるような形で文章化させていただきます。 (事務局 早野)</li>   <li>・よろしくお願いいたします。 ほかにはいかがでしょうか。 [REDACTED]</li>   <li>・ミティゲーションの部分で、今回のこれではベストの対応できないけれども、今後道路をつくるに当たって、きちんとしたミティゲーションをするというのは国際的に当たり前のことなので。今後の方針として、国道をつくる場合にはきちんとしたミティゲーションをするのだということを道路行政の中できちんとやってください。せっかくいい道路をつくっても、自然環境との調和はどうしたと言われる話でしょう。決して日本のためにならないので、今後の道路をつくるに当たってはきちんとした国際的に通るミティゲーションをするという方向を出してほしいという要望といたしますか、そういった意見をぜひつけてほしいと思います。 [REDACTED]</li>   <li>・今、 [REDACTED] からいただいた内容はすごく大きな話もありまして、大宮国道として対応できる部分は、今回はここまでになってしまいますが、私たちも事業をしていく上でその辺は今後気をつけていきたいと思っています。(事務局 早野)</li>   <li>・ぜひ。 [REDACTED]</li>   <li>・ほかにはいかがですか。 次回、具体的なつくり込み方に関して2回議論があると思いますが、イメージとしては、40ページ以降のこういう形の空間をつくっていく予定であるという話です。ここら辺も含めていかがでしょうか。 [REDACTED]</li> </ul>

項目	主な意見と回答
<p>第 3 章 調査地 L の 保全対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4 1 ページの遮断植栽ですけれども、やはり道路が供用されるときにある程度遮断効果があるような形を見越して樹木を選んでいただきたいのです。将来にわたって遮断されてもあれなので。特にここは非常に大事なところだと思いますので。 供用は予定としては 2 6 年でしたっけ。 [REDACTED]</li> <li>・ そうです。(事務局 早野)</li> <li>・ できればということですよ。特に [REDACTED] なんか言っていますが、もしそうだとしたら、そのときに植栽としてある程度遮断効果がある完成木を少しでも入れるような形で気をつけてほしいということです。 [REDACTED]</li> <li>・ 樹木は育てて何ぼのものということになると思うのですけれども、4 1 ページの記述を見ますと、4 m 程度のものを入れるということが書かれていますね。 [REDACTED]</li> <li>・ これは将来にわたってということですよ。 [REDACTED]</li> <li>・ これは間隔ですか。 [REDACTED]</li> <li>・ 2 ポツ目に、早期の遮蔽効果の発現を目指し、購入苗による半完成木——今回は 1. 5 m と書いてあるのですけれども——を 1 つの基本としたいというように提案しているのですが、この辺は逆に御意見をいただければと思います。(事務局 早野)</li> <li>・ 最終形はどのぐらいの背の高さを想定されているのですか。 [REDACTED] [REDACTED]</li> <li>・ 事務局から御説明いたします。 かなり長期的なお話になるのですけれども、現時点では、最終的に 2 0 m ぐらいになる高木の種類を入れる予定になっております。道路の遮蔽としては、遮蔽施設が間に入りまして、この高さが 4 ~ 5 m 程度になると伺っておりますので、それが隠れるようになるまでには、1. 5 m の苗を入れると 5 年から 1 0 年の間がかかるのか</li> </ul>

項目	主な意見と回答
<p>第3章 調査地Lの 保全対策</p>	<p>など考えています。(株)建設技術研究所 前田)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [ ]からの御指摘もありますけれども、きちんと遮蔽の機能を果たさせるまで育てていくわけですが、すぐには機能を十分に果たせないということを考えると、その間の対応としてどうするのかということを考えておかないといけないのではないかと思うのですけれども。 [ ]</li> <li>・ 過去にやった調査地で、育つまでの間のことも含めて遮蔽の高さをある程度設定したのもあると思うのです。ですので、今回は、通常の遮蔽である程度高さをとって、木がある程度大きくなるまでの間は、4～5mを今考えていまして、そこで1つの遮蔽効果とさせていただいて、少し時間がかかりますが、木が大きくなるのを待っていただくというような。(事務局 早野)</li> <li>・ 仮囲いみたいなものを設置するということですか。 [ ]</li> <li>・ 遮蔽をやって、その内側に木を植えるというパターンになるので、その遮蔽で一定の効果を得た上で、将来的には木も大きくなってより遮蔽効果を強めていこうと考えているのですけれども。(事務局 早野)</li> <li>・ [ ]、いかがですか。そういう考え方ということですが。 [ ]</li> <li>・ わかりますけれども、供用が始まるわけですから、もう少し大きめの完成木を何本か入れるとか、そういうことを検討してください。 [ ]</li> <li>・ はい。1. 5mの完成木を1つの基本として挙げていますが、 [ ]がおっしゃったように、もうちょっと大きめの完成木をまぶすとか、そういったことも含めて検討させていただきます。(事務局 早野)</li> </ul>



項目	主な意見と回答
<p>第3章 調査地Lの 保全対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お願いします。</li> <li>細かい話で恐縮ですが、③のところでは垂高木のシロダモを選定されていますけれども、シロダモを選んだ背景はどういうことになりますか。 [REDACTED]</li> <li>・ここにつきましては、昨年度の検討で低木を入れることになっておりました。アオキとかヒサカキとかですね。ただ、低木ですと緑のボリュームが出しにくい、それで本数ばかりふえてしまうところがありまして、ある程度大きい木を入れた方がいいのではないかと考えました。シラカシ等の余りに大きい高木であれば、このあたりは高架に接するところでもありますので、道路構造物への影響がある可能性があります。それで垂高木というか10m程度になる木ということでシロダモを選定しています。(株)建設技術研究所 前田)</li> <li>・その辺、特にだめということではないですが、うまい樹種を使っただけだと思います。 [REDACTED]</li> <li>・落葉しない樹木ということで、常緑である程度高さがあるものということで、シロダモだけではないと思うのですが、ヤブツバキとか、それぐらいの高さの常緑の木を考えております。(株)建設技術研究所 前田)</li> <li>・わかりました。</li> <li>ほかに何か御意見等ありますか。この部分はよろしいですか。 [REDACTED] はいですか。 [REDACTED]</li> <li>・先ほどのお話に戻るのでありますが、38ページのところで、調査地Fということで担保性の問題が出たと思うのですが、将来的にここで代替営巣木に誘導していくことを考えているのですよね。 [REDACTED]</li> <li>・それはこれから議論します。45ページまでの内容で。 [REDACTED]</li> </ul>

項目	主な意見と回答
<p>第3章 調査地Lの 保全対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・38ページ。 [REDACTED]</li>   <li>・ああ、ここですか。ごめんなさい。勘違いしていました。 [REDACTED] [REDACTED]</li>   <li>・さっきの担保性の問題で、 [REDACTED] からもう少し明確に書いておいてほしいという話があったので、それに私も同調するのですが、ここに営巣誘導してくるという計画がありますよね。これを見ると、近くに計画運動公園とかスポーツパーク、豊かな工業団地みたいなものを将来的に誘導してくると。ここに誘導してくるとするのは、営巣地としての適正な条件がかなうのだろうか心配になるのです。そこまでいったら一生懸命頑張ってもなかなか誘導されてきにくいのではないかとも思うので、どうせ引っ張ってこよう、誘導してこようとするのだから、もっと営巣環境の整備に力を入れるべきではないかと思うのです。ということを先ほど [REDACTED] が担保性と言ったので、その担保性をより明確に出していただければと思います。 [REDACTED]</li>   <li>・これは道路計画も含めて将来的な問題だとは思いますが、その辺はいかがですか。 [REDACTED]</li>   <li>・まず面的な計画についてはまだ不確定な部分もあります。 営巣地誘導に関しては、どちらかというと工事をしているときのある程度の営巣の担保という意味もあってやるのですが、将来的にICの方が好きになるか、こっちが好きになるかわかりませんが、こちらでもタカがよい環境としてすんでいられるような担保性をとるために、さっき文言の話がありましたけれども、それについては基本的にLのときに提示させていただいた文言と同様の形でよろしいかと思うのですけれども、その辺はいかがですか。関係自治体等と連携しながら保全について取り組むというようなことを過去に書いていたと思うのですけれども、そのような形でよろしいでしょうか。(事務局 早野)</li>   <li>・ という御提案ですが、いかがですか。 [REDACTED]</li> </ul>

項目	主な意見と回答
<p>第 3 章 調査地 L の 保全対策</p>	<p>・何かよくわからないのですけれども。要は、ここに誘導してくるというならば、将来的にもここに定着した安定的な環境を整えてやるべきだろうと。そうすると、こういった計画があるということの中に保護対策を持ってくるというのは担保にはならないのではないか、担保性が非常に薄いのではないかと思うわけです。5年とか10年とか先の話だからいいじゃないかということでは論理的に成り立たないのではないかと思うのです。 [REDACTED]</p> <p>・そこは話が行き違っていた部分があるかもしれないです。樹林の担保性そのものは、F3という赤く囲っている部分が今の樹林地で、これについては今計画はありません。赤い部分が今の樹林地なのです。周辺では計画があります。なので、樹林そのものの担保というのは、これから自治体等と連携しながら、当然土地所有者との話もありますが、F3と書いてある大きな赤い部分が今の樹林地で、ここは今計画があるわけではないのです。(事務局 早野)</p> <p>・営巣環境ということになれば、当然ここを中心に餌を取りに回ったり、ペアリングをやったりというような環境が含まれるわけですから。 [REDACTED]</p> <p>・周辺環境という意味ではそうですね。(事務局 早野)</p> <p>・だから、ずっとこの林の中にいて外に出ないでくれというような記号であって、これはぐあいが悪いと思うのです。その辺のことを私は申し上げているのです。 [REDACTED]</p> <p>・この間を真っすぐ中心を貫いている道路も、今は都市計画されているだけで事業はまだされていませんが、当然この事業をするときに環境への配慮みたいなことも——これは責任を持って言えないのは、これは [REDACTED] の事業なので、 [REDACTED] にお話ししなければいけないのですが、この事業を進めるときにはそういったことも配慮しなければいけないというところは当然あると思います。(事務局 早野)</p> <p>・だから、くどいのですけれども、 [REDACTED] の積極性が余り感じられないんですよ。少なくとも図3-1だって、巢F3のある緑地を逆</p>

項目	主な意見と回答
<p>第3章 調査地Lの保全対策</p>	<p>に下の図で「良好な樹林地を保全する保存樹林」にするのだということであれば積極性が感じられるけれども、そうではなくて、全く担保性がない緑地に指定するだけなので。そのくせ運動公園なんていうのは計画して、恐らくどんどん先に進んでいくのだらうと思うのです。本来から言えば、巢F3があるこの周辺を担保性のある形で計画していくというものがあって[ ]も積極的に頑張っているということが言えるけれども、ただ文書を出して保全してください以外に何も動いていないわけでしょう。だから、私がいろいろなところにかかわっている中では、これだけ大きな問題を抱えても、蒸し返すつもりはないですけれども、非常に積極性が感じられないんですよ。前に[ ]で行われたときには、運動公園の計画を全部中止させて、体育施設か何か全部できたのを、オオタカが巣をつくったということで、雑木林のまま保全するという形に全部計画変更しているのです。ここでもそれだけの積極性があるのだったら、計画運動公園をやめてこの樹林地を保全しますぐらいの、そういう意気込みでやりますということであれば、本当に頑張っているんだなと思うけれども、オオタカを含めた環境に対して配慮しているという積極性が、実を言うと今までも、[ ]も[ ]も非常に感じられないということです。蒸し返して悪いですけれども。[ ]</p> <p>・ちょっと言葉足らずの部分もあって申しわけありませんでした。これから整備する部分についてどんな配慮ができるかについても市に申し入れをしたいと思っていますので、そういった方向で行きたいと思っています。(事務局 早野)</p> <p>・3ページの航空写真と突き合わせると、この運動公園の計画予定地等は耕作地に相当する部分で計画しているわけですね。[ ]</p> <p>・そうですね。今は田んぼか畑、耕作地です。(事務局 早野)</p> <p>・しかし、[ ]がおっしゃったように、採食場所として使ったり、繁殖のためのトータルな利用空間という視点では、できるだけ維持されることが望ましいわけで、そういう視点、この道路事業と</p>

項目	主な意見と回答
<p>第3章 調査地Lの 保全対策</p>	<p>してはこういうことを考えているので、[ ]も極力御協力願いたいというような話を持っていく必要はあると思うのです。道路事業としてここで何かできるわけではないのは十分わかりますけれども、お願いし続けるといいますか。 [ ]</p> <p>・今回、[ ]のところも含めて、特にこういう環境対策について [ ]にいろいろお話しさしあげている部分もあります。このF地については、具体的にどういったことができるかも含めてまだ話し合いができていない状況なので、そこはしっかり、ここで出た話も含めてさせていただきたいと思います。(事務局 早野)</p> <p>・今の段階ではそういう対応になるということで。 [ ]</p> <p>・ [ ]の意をよく把握した答弁になっていなくて申しわけありません。(事務局 早野)</p> <p>・例えばこういう考え方はできないのか。向こう3年間はここは手をつけないでくれとか、いろいろ話し回って、ここに誘導して3年間ぐらい来なかったら別の考えを持ってもいいということになるというのも1つの考え方だと思います。未来永劫ということになってしまうと、皆さん、そこに何も言質を与えないために必死になって頑張るだろうと思いますが、そういう考え方もあるかなと思います。 [ ]</p> <p>・ [ ]、いかがですか。 [ ]</p> <p>・特にはないです。 [ ]</p> <p>・それでは、46ページからのF-Lの関係性と施工時の配慮、この内容に関しての御提案に御質問、御意見をお願いいたします。今の時点で確定するには情報不足の点もあるので、段階的に検討していくという工事の進め方の御提案ですが。 [ ]</p> <p>・52ページまで行ってもいいのですか。 [ ]</p>

項目	主な意見と回答
<p>第3章 調査地Lの 保全対策</p>	<p>・どうぞ。 [REDACTED]</p> <p>・この文章は、慌ててつくったからだと思うのですけれども、基本的な考え方というのがありますね。まず赤の「調査地Lにおける3月期以降の工事実施については、2月期までの繁殖行動を踏まえ、対策会議において」暫定的に判断するわけですね。 [REDACTED]</p> <p>・済みません、そこはちょっと説明不足なところがあります。これは赤と青のどちらか。今はどちらも決め込まないで、赤が2月期までの行動を踏まえて判断した場合で、②' が2月期と3月期を2段階でという。表現がここに2つ連ねて書いてしまっていたので、申しわけありませんでした。(事務局 早野)</p> <p>・どちらかということですね。 [REDACTED]</p> <p>・そうです。どちらかというのを今日御意見いただきたいのがありますし、今後の調査の状況を見ないとわからない部分もあると思うのですけれども、1つのパターンとして提示させていただきました。(事務局 早野)</p> <p>・私は、事前の説明を受けたときに、工事の準備段階に入るにしても、きちんと2段階に分けて、2月までの調査結果に基づいてある程度工事の準備に入り、3月期にもう一度、3月期までの調査を踏まえて、その上で最終的に営巣地への影響が全く確認されなければ、工事期間もあるだろうから、当然ほかの対策も含めてやりながら、入るといふことであれば、やむを得ないかなと。ただ、その場合にはきちんと2段階に分けて、より慎重に処置をとるといふことであればある程度やむを得ないのではないかということ意見で述べたつもりです。そういう点で言えば、青の言う形でやっていただきたい。当然、それが決まらないと下のあれができないわけですから。 [REDACTED]</p>

項目	主な意見と回答
<p>第3章 調査地Lの 保全対策</p>	<p>・どの辺を目安にしていっただいいかというのを御判断いただきたいと思ひまして、今回提示の提案をさせていただきました。(事務局 早野)</p> <p>・実際の工事を進める期間の問題等を考慮して、可能であれば早めにやれる範囲の工事をしたいというのが御希望だと思いますけれども、それについては[ ]からの御意見を踏まえて②’としてまとめられてどうかということですが、この手順に関してはいかがですか。[ ]は、②’であれば、ほかのことをきちんとする前提で、これでよろしいのではないかというお話ですが、何か問題点がありますか。[ ]</p> <p>・問題点ではないと思うのですが、47ページ、この場所の施工時の配慮ですから、一番最初に何が行われて、次に何をやるか、それはいつごろどのぐらいのものをやるかという工程表がまず出てきますよね。少なくともこの林の周辺のフェンスが一番最初に行われて、それは非繁殖期だと思いますが、それからいろいろなことが考えられるだろうと思うので、その辺、工程表と時期とが考えられてきて、どの部分で2月、3月にぶつかりそうかとか、どの問題がかかりそうかというのが具体的に出てきたところでそういう議論をしていけばいいかと思ひます。[ ]</p> <p>・ただ、いわゆる調査地Aのままでやるか。Lはこういう形でやるかによってこれからのスケジュールが全然変わってくるということですよ。だから、まずここで判断していただければ、次に工事の配慮の準備に入ることでしょう。[ ]</p> <p>・今回事務局が提案した中で、調査地Aというこの会の中で決めた1つのルールがあつて、そのルールというのは、3月以降は工事をしないというルールです。その中で、このL地については、中心域ではあるけれども、調査地Fという代替性がある話と、Lについて一定のルールを設けた上で、3月以降やっていいかどうかという判断をこの会議に仰いだ上でやるという方向性がある程度お認めいただけるかどうかというのを議論していただきたいというので、これを提案させていただきました。[ ]がおっしゃるとおり、細</p>

項目	主な意見と回答
<p>第 3 章 調査地 L の 保全対策</p>	<p>かい部分がわからなければという部分については、その方針に基づいて次回に私たちが提案する内容も含めて見ていただいて判断を仰ぐというように考えているのですけれども。(事務局 早野)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その細かいのは次回ですね。 [REDACTED]</li> <li>・はい。細かいところは。 実は工事も発注になったばかりの部分がありまして、特に本線部分は、発注になって、これからどんな対策ができるかというのを今検討している部分もあるのです。それと、I Cなのでいろいろな工事が輻輳します。その工程とか内容も含めて提示させていただかなければいけないと思っていますので、その前段として、Aとは違うルールをここにある程度持つてくることについての御理解をいただけるかという部分で、今回、50ページの赤字の部分の提案をさせていただいたということです。(事務局 早野)</li> <li>・逆に、そういう大宮国道の提案である程度オーケーしたとしても、その対策が不十分だったらだめですよということになるということですね。それは前提ですよ。 [REDACTED]</li> <li>・ええ。まず考え方として1つ先に行っていいかどうかということで、その先に行っていいかどうかというのは、対策と合わせ技でもう一回判断していただくということで構わないです。(事務局 早野)</li> <li>・この52ページの基本的な考え方の御提案と、50ページの施工段階の保護対策の案でこういう新しいメニューを組み込んで進めていいかどうかという問いかけなので、これについてはいかがでしょうか。もう少しこうの方がいいというようなお話があれば承りますが。具体的には次回ということですね。 [REDACTED]</li> <li>・ええ。(事務局 早野)</li> <li>・繁殖期にどこに巣をつくるかはこれからずっと見ていないといけないということなので、それを今年以上にしっかり見ておいてもら</li> </ul>



項目	主な意見と回答
<p>第3章 調査地Lの 保全対策</p>	<p>って、Fを使うのだったらこっちは割合にラフにできるかもしれない。こっちにきたならFに近い方を割合にラフにできるかもしれないというようなことがあるので、それもそれぞれの年の春の判断によるのかもしれないと思いますが。 [REDACTED]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [REDACTED]がおっしゃるように、判断をするための調査がある意味で重要になりますので、年末から2月ぐらいにかけての調査をしっかりやらないと、逆にこの会議に提案できる部分がしっかりしたものが出せませんので、そこはしっかりやりたいと思っています。(事務局 早野)</li> <li>・くれぐれもよろしくお願いします。 50ページの提案は52につながりますけれども、基本的には②'の方ですか。こういう考え方、こういうメニューを組み込むということよろしいでしょうか。 [REDACTED]</li> <li>・ただ、そのときに1つ、50ページの表3-8の真ん中辺に「低騒音・低振動重機の使用」とありますけれども、ここについては、少なくとも3月期についての赤い丸は外さないといえかねえですね。 [REDACTED]</li> <li>・ここは赤丸になっていますけれども、※2にならないといけねえですね。済みません、表示を間違えました。(事務局 早野)</li> <li>・それだけあれしておいてください。 [REDACTED]</li> <li>・工事前提になってしまうので。(事務局 早野)</li> <li>・ありがとうございます。うっかりしまして、私も気がつかないました。 [REDACTED]</li> <li>・事務局から1点だけ。今回、51ページで営巣地誘導の御提案をさせていただいているのですけれども、これに関しては、できれば次期繁殖期の前までに現地に対応させていただきたいと思っております、そうすると12月の中旬頃には現地に対応しておか</li> </ul>

項目	主な意見と回答
<p>第 3 章 調査地 L の 保全対策</p>	<p>ないといけないと思っています。なので、きょうは10月で、2カ 月半ぐらいしかないのですが、1カ月ぐらいかけてもう少し現地を 調査した上で、申しわけないのですけれども、■■■■■に一度現地 に来ていただいて、事務局が幾つか候補地を設定しますので、それ を見ていただいて、そこに対応していくという対応をしていきたい と思っています。そこはまた順次御報告させていただけると思っ ています。(事務局 早野)</p> <p>・タカになれという御指示ですので、タカの目で、上層の空間がど ういう構造になっているかといいますか、そういうところを見て、 別のところで多少経験していますので、お手伝いになるかなと思 いますが。</p> <p>私も50ページと52ページの御了解が得られた後にこの話を しようと思っていたので、ちょうどよかったのですけれども、代替 案に関する御提案もこういう方向でよろしいでしょうか。■■■■■ ■■■■■</p> <p>・「準備作業までの対応」という、準備作業というのはどんなもの が含まれるのですか。■■■■■</p> <p>・準備作業は、現地には入らないで、例えば材料を調達したり、機 材の調達。工事に入る前準備というのは結構必要で、準備作業を しておかないと、例えばきょうスタートを切って、きょうから材料と か人をそろえるというのはできないので、やはり1カ月ぐらい必要 なので。(事務局 早野)</p> <p>・営巣中心域の外に機材、資材を積んでおくとか、そういうことで すね。■■■■■</p> <p>・そうですね。現地に入る前の事前準備だと思っていただければ。 (事務局 早野)</p> <p>・今おっしゃったように、周りに機材を置くとか、そういうことも 含まれますか。■■■■■</p>

項目	主な意見と回答
<p>第3章 調査地Lの保全対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の内容とかを含めてそういったことが必要かどうかは、また中身を詰めさせていただきます。(事務局 早野)</li>   <li>・そうですね。にぎやかにしてしまうとまずいかもしれない。■■■■</li>   <li>・なので、そういったところも踏まえて、どこまで。準備段階の考え方というものもあると思うので、そこも具体的に提案させていただきます。(事務局 早野)</li>   <li>・よろしくをお願いします。 では、よろしいですか。■■■■</li>   <li>・44ページの草地ゾーンの所で、「自然侵入による草地化を目指す」と書いてあります。これは違うと私は思うのです。私はこんなことは言わなかったのです。在来の樹種、木と野草と両方とも在来種を使う必要があると私は毎回言っているのです。「自然侵入による」と言うと、放っておいても勝手に来てくれる。それは自然草地が周りにあれば入ってくるというのはわかるけれども、こういうところはそうではないわけだし、放っておいて木が生えてくるというわけにはいかないわけで、だから木を植えているわけでしょう。同じことですよ。本来ここにどういう野草があったのかということ調べて、その種子を近くからとって、それをふやしてまく。木と同じことですよ。そういうことをちゃんとやってもらわないと、またもや草本類が抜けてしまっているのではないかという気がするのです。これはいいことではないですよ。木と草というのは両方重要なものですから。先ほどの水辺の植栽もそうですよね。木だけ言っているけれども、草はどうしたのという。あの野草というのが医薬品とか食料をつくる大きな遺伝子資源ですから、すごい重要なのです。とかく日本は木だけ言うのですが、それは間違いで、ヨーロッパだって、アメリカだって、木と草を同時にやっているのです。在来種というのは。私はそう言ったのに、また野草が抜けてしまうという、これはいいことじゃないですよ。■■■■</li> </ul>

項目	主な意見と回答
<p>第3章 調査地Lの 保全対策</p>	<p>・そこは不手際があって申しわけございません。基本的には在来種をしっかりとこういうところに反映していくというつもりで資料づくりをしていたつもりなので、そこは訂正させていただきます。(事務局 早野)</p> <p>・ぜひ。すごい重要なことなので。今後の植栽に係る公共事業のあり方の基本ですから。■■■■■</p> <p>・周辺部から自然に入り込んでくることで成り立つ部分もありますけれども、移動性の少ないものはやってこれないわけですから、その辺の手当てを考えていただければと思います。■■■■■</p> <p>・基本的には事業者の方である程度の手を加えて、在来種を主にやっていくつもりでおりましたので、余り適切な表現ではなかったと思います。(事務局 早野)</p> <p>・こういう環境は草本類としてどういう群落が適切なのかという難しい視点ですけども、専門家の御意見を聞きつつ種組成を考えていただければと思います。前にも話しましたがけれども、ある程度乾いている環境になりますので。ちょっと日陰の部分もある。事例もありますので、そういうのを参考にいただければと思います。よろしいですか。</p> <p>それでは、この御提案については大体こなせたということによろしいでしょうか。■■■■■</p>
<p>調査地G（上尾道路 ■■■■■）の道路 整備によるオオタカ への影響及び保護対 策</p>	<p>・それでは、次に、調査地G■■■■■の道路整備によるオオタカへの影響と保護対策の説明をお願いいたします。■■■■■</p> <p>・「調査地G（上尾道路■■■■■）の道路整備によるオオタカへの影響及び保護対策」の説明（事務局 森澤）</p> <p>・ありがとうございました。</p> <p>こういう内容のものを■■■■■にお渡しするということです。どうでしょうか。何か問題がありますか。■■■■■</p>

項目	主な意見と回答
<p>調査地 G（上尾道路  <span style="background-color: black; color: black;">                    </span>）の道路                      整備によるオオタカ                      への影響及び保護対                      策</p>	<p>・これはもう渡してあるのですよね。<span style="background-color: black; color: black;">                    </span></p> <p>・そうです。一たん 6 月にお渡ししております。それで、今回この                      会議で皆さんお集まりいただいた中で再度御意見があればという                      話と、今期の調査も含めて御意見をいただければということで今回                      提案させていただいています。そういった趣旨でございます。（事                      務局 早野）</p> <p>・私は事前の説明のときにこの問題を提起したのですけれども、<span style="background-color: black; color: black;">          </span>  <span style="background-color: black; color: black;">                    </span>としては、我々から諮問するという形で言ったみたい                      なのです。そうすると全く意味合いが違ってきて、意見を聞いて事                      務局でまとめるということは、議論しないわけですから、なかなか                      内容が煮詰まらないわけですね。それで、こうやって議論すれば、                      そこは問題じゃないかとか、こうした方がいいという形で議論が深                      まって、<span style="background-color: black; color: black;">                    </span>にきちんとした提言として出せる                      わけですので、そういう点では、前回のやり方は十分に<span style="background-color: black; color: black;">          </span>人た                      ちの意向を酌んでいないのではないかとということで話をしたので                      す。</p> <p>それはなぜかという、6 月 27 日に出した対策会議の中を見ても、                      非常にあいまいで、何をしたらいいかということが、全部読むと                      読めないのです。最終的には、植栽とか日照の影響の問題があれば                      何もしなくていいとも読めるし、日照の問題についてちゃんと調                      査をやった上で判断するのかということも何もないわけです。そう                      すると、我々対策会議は<span style="background-color: black; color: black;">          </span>が求めたことをきちんとしていないの                      ではないかととられるのではないかとということで、改めてここで議                      論して、しかも、今年度の調査を見ると、34、35 ページを見て                      もらうと、ことは繁殖していますので、非常に幼鳥が上尾道路の                      ところを通っているのです。会議資料①の 34、35 ページ。ここ                      を見ると、これが上尾道路で、ここが<span style="background-color: black; color: black;">          </span>です。この問題は非常に                      大事な問題だと思いますので、今年度の調査を踏まえて改めて意見                      を取りまとめ直した方がいいのではないかと私は思うのですけれど                      も、それを皆さんに聞いてもらいたい。<span style="background-color: black; color: black;">                    </span></p> <p>・<span style="background-color: black; color: black;">                    </span>からお話があったことに関して、<span style="background-color: black; color: black;">                    </span>か                      ら諮問というお話があったのですけれども、大宮国道としては検討</p>

項目	主な意見と回答
<p>調査地G（上尾道路  <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>）の道路                      整備によるオオタカ                      への影響及び保護対                      策</p>	<p>会議に確認しますと言っていたので、そこは行き違いがあったのか                      もしれないので、申しわけありません。</p> <p>その確認の方法として、個別聞き取りでも、こうやって集まっ                      ても構わないと思っていたのですが、今回、6月のときには聞き取り                      という形で実際にやってお返ししたという事実があります。それ                      ついて、<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>のお話で、会議として意見を出すに当たっ                      ては、やはりこうやって皆さん集まった場でないと本当の御意見を伺                      えない部分もあると思うので、今回ちょうど今期の調査結果も踏ま                      えて議論できる場がありましたので、ここで改めてという形でござ                      います。（事務局 早野）</p> <p>・そうすると、6月27日にこの文書をお渡ししていますけれども、                      それにさらに少し補足して、ここでまとまった意見を提示するとい                      うことになりますか。<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span></p> <p>・追加・修正の御意見があれば、それを加えた上で回答文をつくっ                      て、座長に見ていただいて、皆さんにも御報告した上で報告する                      という形がよろしいのかなと考えております。（事務局 早野）</p> <p>・というお話です。                      今改めて読みますと、(1)の一番最後の項目と(2)の一番最                      後の項目がやや読みにくい話になっていますね。これはどう考えた                      らいいのでしょうか。<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span></p> <p>・相反するような格好の言葉になってしまっていますが、橋ができ                      るということに対しては、そこを走る走行車両について、オオタカ                      に対しては遮蔽して見えなくしたり、通過するとき衝突のおそれ                      もあるのでというのが一番おしりの話です。ちょうど湿地の上に橋                      ができますので、構造物が上に延びてくると、その分影のできる部                      分が大きくなりますから、そういった意味で相反する部分がある                      という意見になってしまっているのですけれども、ここは、だからそ                      れをしないということではなくて、こういった意見がありました                      という、ある意味で素直に書いてしまったということです。（事務局                      早野）</p>

項目	主な意見と回答
<p>調査地G（上尾道路  <span style="background-color: black; color: black;">                    </span>）の道路                      整備によるオオタカ                      への影響及び保護対                      策</p>	<p>・いわゆるオオタカ保護対策としては、オオタカ保護のための意見を出せばいいわけですね。<span style="background-color: black; color: black;">                    </span></p> <p>・おっしゃるとおりです。（事務局 早野）</p> <p>・それを踏まえて、向こうで、オオタカに配慮するけれども、植生から言えば問題だということがあれば、それは向こうでやればいいことであってね。</p> <p>もう一つ、一番大事なことは、このG地区についてもA地区と同じ保護対策をするということが前提ですよ。考え方は、全体の保護対策は同じですよ。ということは、高利用域についてもモニタリングするということをやっているわけですよ。そういうことがこれにはないわけ。そうすると何かおざなりにやっているように見えてしまうわけ。だから、少なくともここでも圏央道でやった保護対策を前提にきちんと考えていきますとうたっておけばいいのですけれども、そういうことがなくて、それで意見が出ているし、シェルターを設置する必要はないとか、余計なことを入れ過ぎているのです。そうではなくて、ここでは高利用域としての判断をどうすればいいかということを出せばいいわけ。だから、前書きで、「G地区（上尾道路<span style="background-color: black; color: black;">                    </span>）の橋梁構造によるオオタカへの影響及び保護対策について、圏央道の保護対策に準拠して」以下のようにやるという形で、まず圏央道と同じ対策をとりますよと明確にうたえば、向こうだって通りやすいと思うのです。<span style="background-color: black; color: black;">                    </span>  <span style="background-color: black; color: black;">                    </span></p> <p>・「橋梁構造によるオオタカへの影響」が1項目で、「保護対策について」がもう1項目というように分けて、この会議でのA地区の保護対策の基準になりますけれども、そのどういう部分を<span style="background-color: black; color: black;">                    </span>で進めるかというような整理のされ方をすると混乱がなくなるのではないですか。<span style="background-color: black; color: black;">                    </span></p> <p>・今、<span style="background-color: black; color: black;">                    </span>、<span style="background-color: black; color: black;">                    </span>からお話があったように、意見の出し方としてある意味正直に書き過ぎている部分があるのと、前段としている保護対策が見えてこないという2つの問題点がありまして、橋ができたことによる影響というものも<span style="background-color: black; color: black;">                    </span>から問われている問</p>

項目	主な意見と回答
<p>調査地G（上尾道路  <span style="background-color: black; color: black;">                    </span>）の道路                      整備によるオオタカ                      への影響及び保護対                      策</p>	<p>題なので、それは1つとして、保護対策全体として圏央道で決めた                      ルールにのっとってどういうことをしていくかというのを、たしか                      ここも提言書が出ているので、G地区のやつ、この提言書に基づい                      た保護対策が、フォローアップ調査も含めて、工事モニタリングも                      含めて書いてありますので、それをここに反映するような形がよろ                      ければそのようにさせていただきたいと思います。（事務局 早                      野）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ そうですね。 <span style="background-color: black; color: black;">                    </span></li>   <li>・ それでお願いします。                      ほかには何か配慮すべきことはありますか。 <span style="background-color: black; color: black;">                    </span></li>   <li>・ 結果としてはどういうことになるのですか。 <span style="background-color: black; color: black;">                    </span></li>   <li>・ 文書をもう一回書き直す。 <span style="background-color: black; color: black;">                    </span></li>   <li>・ 一たん渡したんですよね。また書き直して、こっちが正しいと言                      って出すのですか。 <span style="background-color: black; color: black;">                    </span></li>   <li>・ いや、新たに今年度の調査を踏まえてということ。 <span style="background-color: black; color: black;">                    </span>  <span style="background-color: black; color: black;">                    </span></li>   <li>・ 別の文書として出すのですね。 <span style="background-color: black; color: black;">                    </span></li>   <li>・ そうです。新たに今年繁殖で非常に高利用域を使っていることが                      わかったの。 <span style="background-color: black; color: black;">                    </span></li>   <li>・ この意見でいただいたもの自体、6月27日に出しているという                      のは、それはそれでいいと思うのですけれども、今回改めて会議に                      諮って、整理の仕方も含めて御意見をいただいたので、そういった                      整理を。文章を新たにつくったもので提示するという格好にしたい                      と思います。（事務局 早野）</li> </ul>



第 1 1 回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
<p>調査地 G（上尾道路  <span style="background-color: black; color: black;">                    </span>）の道路            整備によるオオタカ            への影響及び保護対            策</p>	<p>・段取りはどうしますか。いつごろまでにそれを出す必要がありますか。  <span style="background-color: black; color: black;">                    </span></p> <p>・期限を特に切られてはいないですが、きょうの会議を踏まえて事務局で速やかに案文をつくらせていただきます。それを、メールか何かで申しわけないのですけれども、  <span style="background-color: black; color: black;">                    </span>に一度見ていただいて、ある程度案ができた段階で各委員に見ていただくという段取りでいかがでしょうか。（事務局 早野）</p> <p>・そういう御提案ですけれども、この次の会議で御了承をとるということとはしなくてよろしいかな。皆さん、その辺はどうですか。  <span style="background-color: black; color: black;">                    </span></p> <p>・次はいつの予定ですか。  <span style="background-color: black; color: black;">                    </span></p> <p>・今の予定だと 1 1 月末～1 2 月初旬ぐらいにかけてと思っています。申しわけないのですけれども、6 月に出しているものがあって、この会議を踏まえて出すというスタンスが決まっていれば、時期は余り問題ないと思います。（事務局 早野）</p> <p>・そうしたら、メールでのやりとりは当然やりますけれども、こういうものを最終的に出しますという決定は次の会議の席上の方がいいように思います。  <span style="background-color: black; color: black;">                    </span></p> <p>・それで皆さんがよろしければ、事務局はスケジュールにはこだわっていませんので、それで構わないです。逆にそういった形の方が会議としてしっかりしたものが出せるのでしたら、それでお願いします。（事務局 早野）</p> <p>・  <span style="background-color: black; color: black;">                    </span>、何かございますか。  <span style="background-color: black; color: black;">                    </span></p> <p>・この 6 月 2 7 日のやつはどういった経過で渡ったのかなということが私の記憶になくて。ただ、ここで皆さんで資料を見て意見を言い合った記憶はあるのですが、あれは私の記憶違いですか。  <span style="background-color: black; color: black;">                    </span></p>

項目	主な意見と回答
<p>調査地G（上尾道路  <span style="background-color: black; color: black;">                    </span>）の道路                      整備によるオオタカ                      への影響及び保護対                      策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その前段の部分でしたっけ。<span style="background-color: black; color: black;">                    </span></li> <li>・それは意見を聞く前の話だと思います。（事務局 早野）</li> <li>・たしか話題として出したのですね。<span style="background-color: black; color: black;">                    </span></li> <li>・こういったことが<span style="background-color: black; color: black;">                    </span>から来ていますという話題として一回提供させていただいて、実際に資料をもって聞いたのは個別です。そのときに<span style="background-color: black; color: black;">                    </span>から言われているのが、橋をつくったときに橋にぶつかるのが心配だというお話があったので、その点を中心に、さらに調査結果も、ざっとですけれども、見て頂いて、何か気になる点がありましたらという言い方をしています。ただ、その点、会議としてという意味で至らなかった部分があったら、それは今回で改めたいと思っていますので、そういった格好で。（事務局 早野）</li> <li>・では、次回の会議のときに確定版を読みたいと思いますので、よろしくをお願いします。                      それでは、きょうのメニュー、（3）まで終わりました。御議論どうもありがとうございました。                      これで事務局の方にお返しいたします。<span style="background-color: black; color: black;">                    </span></li> <li>・どうも御議論ありがとうございました。                      本日提案させていただきました調査地Lにおける保全対策につきましては、ミティゲーションの考え方につきまして次回に向けて具体的な整備計画案を検討していきたいと考えております。                      また、施工時の配慮につきましては、本日の御意見を踏まえ、配慮の考え方も含めて具体的に示せるよう検討させていただきまして、次回会議に提案したいと考えております。                      そして、ただいま御議論いただきました<span style="background-color: black; color: black;">                    </span>  <span style="background-color: black; color: black;">                    </span>に関する回答につきましては、御意見をいただきまして、整理した上で回答案を作成し、次回会議で諮らせていただきたいと考えております。                      先ほど次回会議につきまして事務局からお話しさせていただきましたとおり、次回会議につきましては11月下旬～12月上旬を</li> </ul>

第11回 埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議

項目	主な意見と回答
閉 会	<p>予定しております。具体的な時期につきましては追って調整させていただきますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>最後に、本日の会議資料は大分ボリュームがありますので、持ち帰り等大変だと思います。差し支えなければ事務局から郵送させていただきますので、そのまま机の上に置いておいていただければと思います。(事務局 森澤)</p> <p>・それでは、長時間にわたりまして御議論どうもありがとうございました。以上をもちまして第11回埼玉圏央道オオタカ等保護対策会議を終了させていただきます。どうもありがとうございました。(事務局 森澤)</p>